

9

結核検診

1 概要

- 1] 目的 結核の早期発見、まん延防止
 2] 根拠法令 学校保健安全法
 3] 対象 高等学校及び高等専門学校の第一学年、大学の全学年（小学校全学年及び中学校全学年については、問診を行い、必要と認めるものに対してX線直接撮影等の必要な検査を実施）

2 検診方法

胸部X線間接撮影（100mmミラーカメラ）による背腹1方向撮影

3 判定方法

呼吸器の専門医が読影を行い判定した。

4 精度管理

結核検診の精度の維持・向上を図るために、第三者が実施する外部精度管理に参加

精度管理名	実施団体
フィルム評価会	結核予防会胸部検診対策委員会 精度管理部会
胸部エックス線写真 精度管理調査	全国労働衛生団体連合会 総合精度管理委員会

5 実施状況

県内各学校より委託を受け、16,806人実施した。内訳は、高等学校15,494人、特別支援学校351人、その他の学校961人であった。要精検者数は24名で、要精検率は0.1%であった。

表1 判定内訳

		受診者数	異常認めず (%)	精検不要 (%)	要精検 (%)
高等学校	男	7,904	7,827 (99.0)	66 (0.8)	11 (0.1)
	女	7,590	7,431 (97.9)	150 (2.0)	9 (0.1)
	計	15,494	15,258 (98.5)	216 (1.4)	20 (0.1)
特別支援学校	男	235	226 (96.2)	8 (3.4)	1 (0.4)
	女	116	101 (87.1)	14 (12.1)	1 (0.9)
	計	351	327 (93.2)	22 (6.3)	2 (0.6)
その他の学校	男	297	291 (98.0)	4 (1.3)	2 (0.7)
	女	664	649 (97.7)	15 (2.3)	0 (0.0)
	計	961	940 (97.8)	19 (2.0)	2 (0.2)
総数	男	8,436	8,344 (98.9)	78 (0.9)	14 (0.2)
	女	8,370	8,181 (97.7)	179 (2.1)	10 (0.1)
	計	16,806	16,525 (98.3)	257 (1.5)	24 (0.1)

前年度と比較し、受診者数が75人増加した。要精検率は、昨年度同様0.1%であった。